

見学会報告

静岡市立日本平動物園

横山謙二



NPO 企画イベントの『静岡市まるごと動物園?!』

2月25日、日本平動物園の見学会を実施しました。この見学会は1月30日～4月1日にかけて開催しているNPO企画イベントの『静岡市まるごと動物園!?!』の展示・講座の見学もかねていました。

私は、30年近く静岡市に住んでいますが、実は仕事以外で日本平動物園に入るのは初めてで、動物写真を撮るのを楽しみにしていました。

午前中の見学会は、ビジターセンターで実施している『静岡市まるごと動物園?!』を見学しました。ここでは、普段あまり見ることができない静岡市内に生息する野生動物の剥製や骨格標本が展示してあります。この展示で多くの人に、私たちの身近なところにも多くの野生動物が暮らしていることを実感してもらえたのではないのでしょうか。

その後、日本平動物園に勤めていた三宅さんの案内のもと、園内の見学を行いました。

三宅さんの飼育体験談や動物解説を聞きながら、猛獣館やふれあい動物園、フライングメガドームを見学して回りました。フライングメガドームは、池をまるごとケージで囲み、見学者がケージの中で見学することができます。ケージの中では、インカアジサシの群れが豪快に飛び交い、迫力のある生き生きとした動物の姿を見ることができました。私は、午後のバックヤード見学時間まで、ほとんどこのドームで過ごして、写真撮影して楽しく過ごしていました。



ゾウのうんちと歯をさわる



キリンに餌をあげる

午後は、ゾウ舎とキリン舎などのバックヤードを、飼育員の山本さんに案内していただきました。

ゾウ舎では、飼育についての話や、ゾウの餌についてのなどの解説を聞き、ゾウの歯やウンチを触らせてもらいました。キリン舎では、キリンに餌をあたえるなど、普段できない体験をさせていただき、見学参加者の皆さんはたいへん喜んでいました。その後もビジターセンター2階の標本室の見学や園内の動物病院で、獣医の山田さんに動物の治療などについて説明してもらいました。

今回の見学会は、なかなか体験できないことや普通見ることができない動物園のバックヤードの見学など、大変いい経験をさせてもらいました。博物館と動物園の役割は、違いますが、動物の見せ方や来園者への対応など勉強になりました。